

小児医療界の異端児と呼ばれて

カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 (UCLA)

今西 洋介

様々な人から自分のキャリアについて聞かれるが、よく言われる言葉が「変わってますね」だ。しかし肩書や立場を意図的に選んだ訳でなく、目の前の課題に向き合っていたら「気づけばここにいた」のが正直な所だ。

最初の転機は医療漫画「コウノドリ」に携わった事だ。ある日、周産期医療の漫画を描きたい漫画家がいるから相談に乗ってと産科部長に呼び出されたのがきっかけで、何か質問が来たら答える程度だろうと思っていたら大ヒット作品となった。日本の最前線を走る俳優や撮影スタッフと仕事を出来た事で、新生児科医という仕事に使命感を強くした。またその頃から病院にたどり着く前に守れる命があるのではないかと考え、SNS を駆使して医療啓発を行うようになった。

一方、医師 8 年目を過ぎた頃から 2 つの課題に直面した。まず研究ができない事だった。臨床の疑問を元にデータを取っていたら当時勤務先・大阪母子医療センターの平田克弥先生に「これは論文になる」と後押しされ初の英語論文を発表し、平田先生のサポートで初めて研究の面白さを知った。それが後の公衆衛生学 PhD 取得に繋がる。もう一つは社会貢献が足りていない事だった。NICU で、子宮頸がんの円錐切除後の母親からの児に早産児が多いことに気づき、日本で子宮頸がんが多い理由を考え仲間と HPV ワクチンの啓発団体「みんパピ」を立ち上げた。勤務医をしながらのロビー活動は気が狂いそうだったが、社会貢献の手応えを掴んだ。その活動の中「子どもの政策決定の現状の酷さ」(2010 年代当時)を知った。エビデンスが重視されず、有力政治家に近い市民団体の声一つで子どもの様々な政策が次々決まっていく。本当に日本の子ども達の為になっているのかと思い、医療政策を評価できる力をつけたいと考えた。

そこで浮かんだのが米国だった。医療政策研究で有名な UCLA 准教授・津川友介先生にダメ元で連絡をしたら、まさかの採用を頂いた。しかし、いち臨床医が研究者チームに入る事は想像以上に大変だった。聞いたことのないビッグデータや解析手法の嵐。さらに、渡米後トランプ政権が爆誕し UCLA にも圧力をかける等、研究は順風満帆ではなかった。

一方、津川先生に「論文を書いた、ではダメ。その研究を通じて社会にどのような影響を与えられるかまでを考えて研究を」と言われ、この逆境で米国で医療政策研究をしている事は逆に良い経験と感じるようになった。

このように順風満帆とは言えないキャリアだが、振り返れば大切にしてきた事は2つある。1つは「現状に満足しない」。最近小児科医キャリアでやりたい事が多過ぎて一度の人生では時間が足りず、来世も小児科医になってこの続きをしたい。そして「人との繋がりに感謝」。こうしたいと思う時に必ず目の前に救世主が現れた幸運には感謝しかない。

小児科医は子どもの利益を守るための最良のアドボケイトと考える。自分もその端くれ(異端児)として、日本の子ども達のために、米国で得られた知見を元に日本の小児医療の発展に貢献できればと思う。

【著者略歴】 今西 洋介 (いまにし ようすけ)

2006年 富山大学医学部卒

2009年 石川県立中央病院いしかわ総合母子医療センター 小児科、新生児科

2011年 りんくう総合医療センター 小児科

2013年 大阪母子医療センター 新生児科

2022年 大阪大学 公衆衛生学教室

2024年 カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA) 医療政策学教室

資格：小児科学会専門医、周産期新生児専門医、医学博士(公衆衛生学)

家族：助産師の妻、長女次女(中学生)と三女(幼稚園)の三姉妹

(私以外ロン毛で、毎晩排水溝に詰まる大量の髪の毛を拾い取る人生)

～ダイバーシティ・キャリア形成委員会より～

「出会いと感謝が紡ぐキャリアの可能性」

自分のキャリアを他人に説明すると、「変わっているね」と評されることもあると思います。でもこの「変わっている」というのは言い換えれば「ユニークである」ということであり、他人とは異なる唯一無二のキャリアを歩んでいるということです。是非自信をもって、自分の信じるキャリアを積み上げていただければと思います。また、キャリア形成には必ずと言ってよいほどきっかけを与えてくれたメンターや同僚などがあると思います。これらの人々への感謝を忘れず、日々を一生懸命に過ごしていれば、それが自ずとよいキャリアにつながって行きます。是非そのような「出会い」と「感謝」を忘れずに日々を過ごしていただきたいと思います。ダイバーシティ・キャリア形成委員会では、このような「出会いの場」の一つとして、日本小児科学会学術集会で Cafe 企画を毎年開催しています。Cafe 企画では将来の自分のキャリアにとって重要となる方との出会いがあるかもしれません。興味のある方は奮ってご参加ください。